

[Faint vertical text in columns, likely bleed-through from the reverse side]

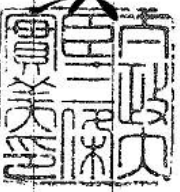
六

開拓使

明治十年七月相定候作業費出納條例中別
紙ノ通改正候條十二年度ヨリ施行可致此旨
相違候事

明治十二年十月十六日

太政大臣三條實美



大甲九四

作業費出納條例

第三條

興業費營業費區分ノ下

作業上ノ費項全ツテ興業營業ノ二トス其分限ハ第一節以下ニ掲ル如シ

第一節

興業費

該費ハ全ク開業前ニ係ル費項即チ工場其他附屬舎ノ諸營業及器械購入等ノ費途并開業後事業擴張ノ為メ諸建物ヲ増築シ或ハ器械購入ノ費用ヲ類集ス

如掲シル

金額受拂ノ制ハ第五條ニ

開業ノ期云々

但云々

第二章

營業費

該費ハ開業後ニ係ル營業必需諸物品ノ購入官吏俸給
諸職工雇給及ヒ諸器械ノ修繕并不足補充毀損新調

其他工場并附属舎ノ管繕等本業ニ属スル諸般ノ費途

金額受拂ノ制限ハ第二章ノ類集ス作業不充分等ニシテ
損失ヲナシ為メニ資

本中欠額ヲ生スル片之ヲ補填ス
ルハ第四章ノ第三節ニ掲タル如シ

第四章 豫算申請ノ一

第三章

作業不充分等ノ為ノ損失ヲ生スル片ハ其

負額ハ營業資本ノ欠額補填トシテ更ニ大

蔵者ヨリ交付スヘシ故ニ第二章ノ例ニ准

シ各詳細ノ仕譯書ヲ以テ伺出ツヘシ償却
法ハ

掲ル七條ノ第三節ニ

第六條 營業費受拂制限ノ一

第一節

營業費ハ云々

但毎年度不収ノ際ニ於テハ末期ノ現金

物品代價其他製作済及ヒ製作中未收入

金トテ併セテ之ヲ其資本原額ニ補充ス

ルモノトス

第七條 收入金運用及ニ費消却損益比較等ノ一

第三節

營業資本ハ該年度ノ收入ヲ以テ償還スル
勿論ト雖モ作業不充等ニテ之ヲ償還セ
得サレモハ第一節ノ例ニ全シ

第四節ヲ刪除シ第五節ヲ第四節トナス以
下各節皆倣之

正官

自何年何月何日
至何年何月何日

諸作業損益比較報告

何省

何局

何製作所

財産價格 金

(地所建物器械等ノ價格)

時價ヲ掲クヘシ其未ク調定ニ至ラサレモノハ
姑ラク原價ヲ付シ其事由ヲ記載スヘシ

營業資本 金

大文

本年度損益比較

營業費 金

收入 金

比較

金

益(損)

内

金

金

營業資本額補填
ノ分償却
興業費償却

益(損)ノ方

益(損)金卜營業資本金卜比較

何分ニ當ル

益(損)ノ方

益(損)金卜

財産價格
營業資本
合計卜比較

何分ニ當ル

自起業至本年度收出比較

興業費 金

内

金

最初ヨリ何年六月迄ノ分
本年度分

營業費 金

收入 金

大 収 入

收入ト營業費ト比較

收入ノ方

何分ニ當ル

收入ト興業費ト比較

收入ノ方

何分ニ當ル

何製作所

書式渾テ前例ニ倣フ

右ハ自年号何年七月
至年号何年六月
作業損益比較書面
之通有之候也

長官

年號年月日

官姓名印

大藏御宛

自 何年七月
至 何年六月

興業費 (并 營業資本欠額補填金) 償却高報告

「是ハ欠額補填ヲ要セシムル限ル」

何 省

作業費止納條例施行以前 已ニ開業セシモノハ最初ヨ	リ施行マデニ屬スル經費ヲ 悉皆編入シ其際マテノ收入	額ヲ償却濟ノ部分ハ編入 シ差引殘額アラハ之ヲ償	却未濟高ハ算入ス尤モ開 業維新以前ニ在リ之ヲ	精理シ難キ類ハ其分ノ ヲ除キ其事由ヲ摘記ス
-----------------------------	------------------------------	----------------------------	---------------------------	--------------------------

何 局
何 製作所

一金

償完ス、キ高

内

金

興業費

内金

興業以前ニ属スル分
興業以後ニ属スル分

金

營業資本欠額補填金

一金

償却 済

内

金

年号何年ヨリ何年
ニシテ償却

(最初ヨリ前年迄ノ額ヲ掲ク)

内

金

營業資本欠額補填
ノ分償却

金

興業費償却

金

本年度償却

内

金

營業資本欠額補填
ノ分償却

金

興業費償却

一金

償却未済

内

金

來何年度以降償却ス、キ分

内

金

營業資本欠額補填

金

興業費

金

本年度或ハ何年度ヨリ何年度迄償却スヘキ高ノ内收入不足コレヲ年延

内

金

營業資本欠額補填

金

興業費

(此例ニ倣ヒテ所限リ詳記スヘシ)

合計金

償完スヘキ高金

内

興業費金

内 開業以前ノ分金 開業以後ノ分金

補填 營業資本欠額金

償却済金

内

最初ヨリ前年度迄償却金

内 營業資本欠額補填金 分償却

興業費償却金

本年度償却金

内 營業資本欠額補填金 分償却

興業費償却金

償却未済 金

内

来何年度以降償却スル分 金

内 營業資本欠額補填金
興業費

本年度或ハ何年度ヨリ何年度迄償却スル高ノ内收入不足ニシテ年延 金

内 營業資本欠額補填金
興業費

右ハ自年号何年七月興業費并營業資本欠額補填金償却高
至全何年六月
書面之通有之候也

長官

年號年月日

官姓名印

大藏卿宛

營業費償却高報告ハ廢止ス

此譯

金

前期ヨリ越高

是ハ資本金運用中ノ例ヲ掲ケ其當初受領ノ節
ハ左ノ一項ニ換エ

金

資本金額何月何日ヨリ同
何日迄大蔵省ヨリ受取

但証何号何号

金

資本欠額補填金何月何日ヨ
リ同何日迄大蔵省ヨリ受取

但証何号何号

高金

金

収入金資本ノ償還高

外

金

大蔵省ノ納付高

内金

益金
不用物品拂代

一金

仕拂高

(内譯從前ノ通)

大蔵省

金

器械類製作

金

全 修繕

金

何々不用物品拂代

但營業資本へ
償還スヘキ分

金

全 断

但興業費へ償
却スヘキ分

以下各製作所限リ此例ニ倣ヒ内譯列記スヘシ

一金

仕 拂 高

内

營業資本へ償還

内

平 金

製作費資本へ
償還

金

不用品拂代全上

金

何年 何月 何日
大蔵省 納

但証何号

内

金

益 金

營業資本欠額補填
ノ分償却

内

興業費償却

金

不用物品拂代

但興業費償却

内譯各局各製作所一ヶ所限リノ高ヲ詳記スヘシ

元拂比較

過不足ナシ

外

金

翌期へ越未收入

金

物品渡済代價未收

内金

諸物品製作済

金

全上製作中

右ハ年号何年自何月至何月作業收入精算書面ノ通相違無之候也

長官

年号年月日

官姓名印

大藏卿宛

年未書式ハ第六号雛形ニ倣フ

一金

此譯

仕拂高

金

何司

金

何製作所

金

何々

差引

金 十レ

右ハ 自年号 何年七月 至全 何年六月 營業資本欠額補填金請拂勘定仕上
書面之通相違無之候也

年号 年月日

長官
官 姓名印

大藏卿 宛

六
文
官

第七

開拓使

今般清國上海ニ於テ牛疫流行ノ趣電報有
之候條諛地ヨリ船齎ノ牛ハ一切上陸ヲ禁
スヘク此旨相違候事

但本文ノ旨在上海領事、通知候トモ其以前
同港ヲ發シタル牛ハ悉皆官費ヲ以テ買上
ケ撲殺シ人家牧場等隔絶ノ地ニ埋却可
致候事

明治十二年三月十三日 太政大臣三條實美

17

太政大臣

